

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】令和1年7月18日(2019.7.18)

【公開番号】特開2018-21962(P2018-21962A)
 【公開日】平成30年2月8日(2018.2.8)
 【年通号数】公開・登録公報2018-005
 【出願番号】特願2016-151290(P2016-151290)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)
 C 0 8 F 2/50 (2006.01)
 C 0 8 F 290/06 (2006.01)
 B 3 2 B 27/30 (2006.01)
 G 0 2 F 1/1333 (2006.01)
 G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 4 2
 C 0 8 F 2/50
 C 0 8 F 290/06
 B 3 2 B 27/30 A
 G 0 9 F 9/00 3 1 3
 G 0 9 F 9/00 3 3 8
 G 0 2 F 1/1333
 G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月10日(2019.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

偏光板を含む画像表示部材と、硬化樹脂層と、光透過性部材とをこの順に備える画像表示装置における上記硬化樹脂層に用いられる光硬化性樹脂組成物であって、

硬化後の上記光硬化性樹脂組成物は、厚さ0.3mmのときの透湿度が、40、相対湿度90%の環境下で400g/m²/day以上である、光硬化性樹脂組成物。

【請求項2】

(メタ)アクリレート樹脂と、単官能モノマーと、光重合開始剤と、可塑剤とを含有する、請求項1記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項3】

上記(メタ)アクリレート樹脂は、ポリエーテル系ウレタン(メタ)アクリレートオリゴマー及びポリエステル系ウレタン(メタ)アクリレートオリゴマーの少なくとも1種を含有する、請求項2記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項4】

上記(メタ)アクリレート樹脂の含有量は、5～50質量%である、請求項2又は3記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項5】

上記単官能モノマーは、水酸基含有(メタ)アクリレートモノマー及びヘテロ環含有(

メタ) アクリレートモノマーの少なくとも 1 種を含有する、請求項 2 ~ 4 のいずれか 1 項記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項 6】

上記単官能モノマーの含有量は、10 ~ 40 質量%である、請求項 2 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項 7】

上記可塑剤は、ポリエーテル系ポリオール及びポリエステル系ポリオールの少なくとも 1 種を含有する、請求項 2 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項 8】

上記可塑剤の含有量は、15 ~ 50 質量%である、請求項 2 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項 9】

酸化防止剤をさらに含有する、請求項 2 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項 10】

上記画像表示部材は、画像表示セルの視認側表面に偏光板が形成された画像表示パネルである、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の光硬化性樹脂組成物。

【請求項 11】

偏光板を含む画像表示部材と、硬化樹脂層と、光透過性部材とをこの順に備え、

上記硬化樹脂層は、厚さ 0.3 mm のときの透湿度が、40、相対湿度 90% の環境下で $400 \text{ g} / \text{m}^2 / \text{day}$ 以上である、画像表示装置。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の光硬化性樹脂組成物を、光透過性部材の表面又は、偏光板を含む画像表示部材の表面に塗布する工程と、

上記画像表示部材と上記光透過性部材とを上記光硬化性樹脂組成物を介して貼合せる工程と、

上記光硬化性樹脂組成物を硬化させる工程とを有する、画像表示装置の製造方法。